

鎮守の森とかぜのみち

府中名木百選の木々や野鳥とふれあい、
多摩川の風を感じながら河川敷の広大な景色を楽しめるコースです。

多摩川親水公園



多摩川水系のミニチュアが

対岸の風景も楽しみながら、府中多摩川かぜのみちを歩きます。稲城大橋付近では、4月～7月頃にイワツバメを観察することができます。また、多摩川緑地を歩くコースも選べます。河川敷の多摩川親水公園は、奥多摩から羽田河口までの多摩川水系を石などを使って表現したミニチュアで、眼鏡橋なども再現され、春はあたりを菜の花が彩ります。

白糸台緑地に行く

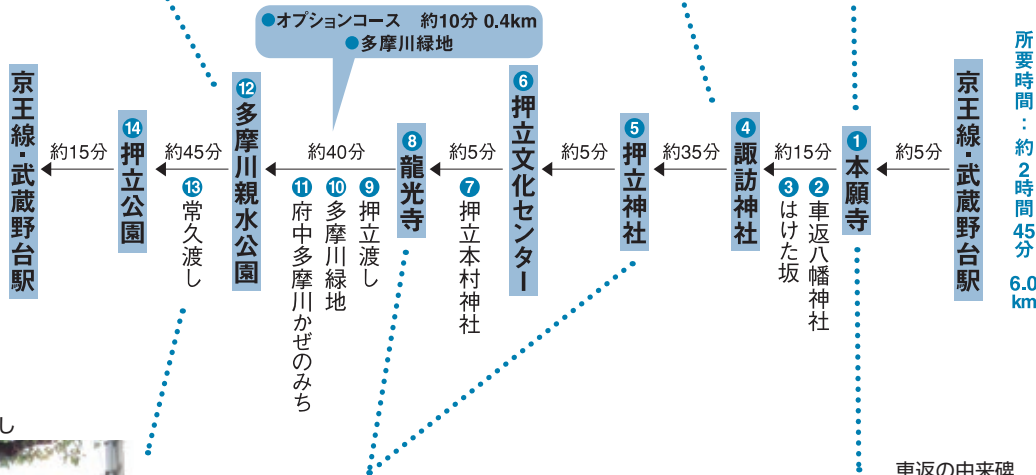
白糸台通りを渡って左側の坂がおっぼり坂。大雨の際に野水の流れが掘った大堀が由来です。はけを進み、左折して諏訪神社に向かう坂は「はけた坂」で、「はけた道」ともいいます。この坂を下り、いききの道に戻ります。府中崖線白糸台緑地脇を通り、押立通り方面へ。

本願寺のサルスベリ



いききの道の本願寺へ

武蔵野台駅南口からいききの道に入り、本願寺へ。本願寺あたりはヤブツバキが美しく、門前では名木百選のケヤキとサイカチが、境内では同じく名木百選のサルスベリが赤い花をつけて出迎えてくれます。



常久渡し



緑道を経由してゴールへ

多摩川通りを渡ると、常久渡しの由来碑。小柳公園を通り、六中通り、押立緑道、三御殿堀緑道、押立町緑地を経て押立公園へ。車返団地の中を歩いて線路右手を行くと、終点の武蔵野台駅です。

押立神社と龍光寺

押立通りを下り押立神社へ。クロマツは名木百選です。左に行くと押立文化センター、押立本村神社。その隣の龍光寺には、名主として新田開発や多摩川の治水に取り組み、一介の農民から幕府の勘定吟味役にまで昇りつめた川崎平右衛門の墓があり、都の旧跡に指定されています。渡船場道を通り、押立渡しから多摩川通りへ。



車返の地名の由来を知る

かつて、現在の白糸台2・4・5丁目の一部(いききの道沿い)に、車返という村落がありました。本願寺縁起によると、この地名は、源頼朝が藤原氏との戦いの折、畠山重忠に命じて薬師如来を奥州から鎌倉に移送中、当地に野営したところ、夢枕に薬師如来が現れて自分をこの地に安置するよう告げたため、載せてきた車だけを引き返させたことに由来すると伝わっているそうです。本願寺門前の由来碑も読んでみましょう。

